

コミュニティ・スクールに 取り組んで思ったこと

学校教育だけで、子どもたちの望ましい成長は難しいと考えます。学校、家庭、地域が、それぞれの役割を果たしながら成長をサポートしたいです。協議会設立を機に、本来の役割と取り組みを見直しています。例えば、小中学生が行う「クリーン八千代」の取り組みでは、地域の方と関わる機会はなく、望ましい形ではありませんでした。今後は、地域の一斉清掃への子どもたちの参加を後押しして、地域に貢献する機会を作りたいです。学校で学んだことを地域で実践することで、生きて働く力を身につけさせたいです。



八千代中学校校長
吉貞 至誠さん

学校代表

保護者代表



八千代中学校 PTA会長
二山 義夫さん

PTAは、学校の運営方針や生徒の状況などはだいたい分かります。ただ、地域と密接に関わる活動はしていません。正直、どんな方がいるのかもよく分かっていませんでした。この取り組みを機に、地域の方と話す機会も増え、一体感が生まれたように感じています。課題はまだ遠慮があること。顔を合わせる機会を増やし、何でも言いやすい人間関係づくりにも努めていきたいです。今年度は初めてということもあり、すべて手探り。来年度はステップアップして、具体的な行動に繋げていきたいですね。子どもたちにとってプラスになる活動になればいいと思います。

地域振興会では、まずこの取り組みの第一歩として、子どもたちへあいさつを行いました。いつものウォーキングを子どもたちの登下校の時間に合わせたりして、できるだけ子どもたちに接する機会を持ちました。あいさつだけでなく、防犯にも繋がります。まずは大人からあいさつをするのがポイント。大人が見本を見せることで、子どもたちも変わっていきます。子どもたちの表情も豊かになり、徐々に地域のことを意識し始めたのを感じています。私は、学校に勤めていたので、地域の気持ちも学校の気持ちも両方分かる立場。架け橋としてこれからも両者を繋いでいきたいです。



地域振興会会長
久保野 哲也さん

地域代表

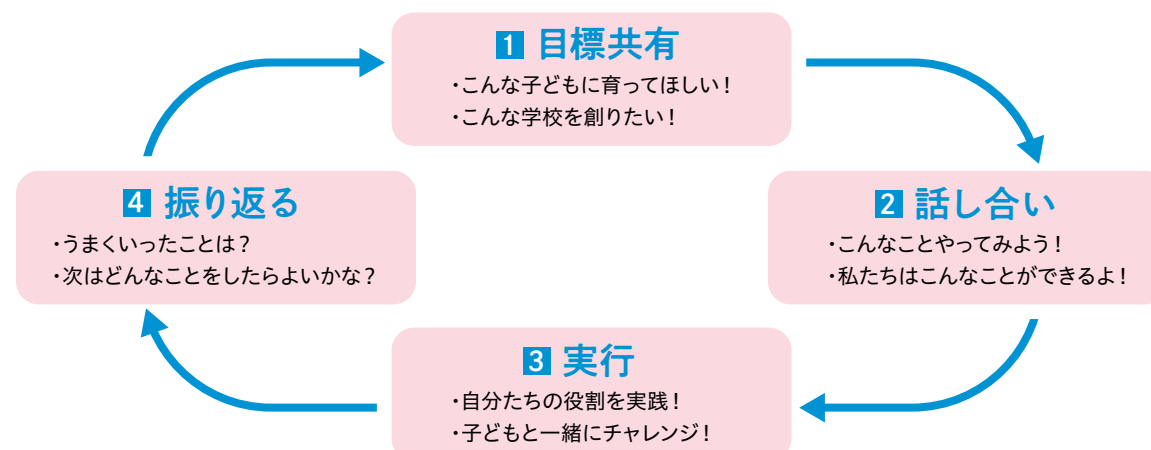
☎教育委員会事務局 学校教育課 学校教育指導係 ☎お太助フォン 42-5628

令和2年度からコミュニティ・スクールをはじめます!

コミュニティ・スクールの魅力

- 1 学校体制がかわっても、地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「**持続可能な仕組み**」です。
- 2 子どもたちがどんな課題を抱えているか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現するのかなどの「**目標・ビジョンを共有**」できます。
- 3 学校や地域・子どもたちが抱える課題に対して関係者が当事者意識を持ち、「**役割分担をもって連携・協働による取り組み**」ができます。

令和2年度から市内全域に、学校と地域が協働して子どもたちを支える学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」の立ち上げを進めています。児童・生徒の保護者や地域の方が積極的に学校と関わり、子どもたちの将来像を共有し、同じ方向を向いて自分たちにできることを、それぞれが考えて行動に移すというもの。学校は地域の方や企業などの協力を得た学校運営が進めやすくなり、地域は地域を担う人材の育成や地域の活性化に繋がるなど、互いにメリットのある取り組みです。令和元年度、モデルケースとして八千代中学校区で実施されました。初めてコミュニティ・スクールに取り組んだ学校、保護者、地域の方の代表に感想を伺いました。



みんなにメリット!

